

やまゆり ニュース vol.34

2021 6

麻生市民交流館やまゆり



今年度の活動方針

交流館の利用活性化

コロナ禍ゆえに昨年度は開催できなかった各種事業の再開に努力し、麻生市民交流館やまゆりの利用活性化を図ります。

情報発信

コロナ禍の終息にはまだ時間がかかるとの認識から、感染症対策を継続しながらも、映像関係機器類の活用による利用団体の利便性向上や各種情報の発信に努めます。

コミュニティ作りの
エンジン再始動!!

麻生市民交流館やまゆりを管理運営する認定NPO法人あさお市民活動サポートセンターは、5月22日に総会を開催し、昨年度の活動報告を行うとともに、新年度の活動予定について発表いたしました。



昨年度の活動

1 運営上では、運営スタッフを募集し、新たに7名の方々の参加を得ました。またコロナ禍における映像による情報発信の重要性に着目し、大型ディスプレイの設置など映像機器類の大幅な増強に努めました。

2 コロナ禍に翻弄されて、多くの事業が中止、延期などの影響を受けましたが、市からの委託事業である「ビバ!あさおの子どもたち」「目指せ!アクティブ・シニア講座」、および自主事業である「ワード・エクセル塾」、また麻生区地域コミュニティ活動支援事業(2団体に支援決定)などを実施することができました。

3 「やまゆりプロモーション・パイロット版」を発刊しました。

理事長挨拶



長らく理事長を務められた植木昌昭氏が退任し、新理事長に就任いたしました。

当法人ならびに麻生市民交流館やまゆりの顔として精力的に活動されてきた前理事長と同様には参らぬ点多々あるうかと思えます。できるだけ多くのご期待に沿えるよう努力を重ねる所存でございます。

引き続き皆さまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

認定NPO法人
あさお市民活動サポートセンター
理事長 中山 正夫

やまゆりニュース vol.34 目次

2面

明るく元気に
かっぱとおばあちゃんの物語

新百合ピアノ
風を感じながら、
屋外の演奏はいかが

3面

あなたに逢いたい
ここに響く 優しいうたを

お役立ち情報
コロナ疲れに癒しを

4面 地域コミュニティ活動支援事業



かっぱとおばあちゃんのお話

長引くコロナ禍で気分が沈みがちな昨今。そんな中、心の奥がじんわりと温かくなるような話を「川崎セブンスター」代表の梅本誠さんから聞いた。

漫才、歌、ダンスなど多彩な演目を持ち、川崎市内で公演や施設慰問を行っているパフォーマンス集団が、3年前に麻生区のデイサービスを訪れた時のことだ。演じものは民話をもとにした朗読劇「かっぱの平六」。普段は漫才をやっているが、この日はかっぱ役を務めた梅本さんに終演後、声がかかった。見ていた高齢女性が「ぜひ、かっぱさんに会いたい」と言っているという。

「私、小さいころからかっぱが大好きなの。きょうはかっぱさんに会えて嬉しい！」
梅本さんが再びかっぱの扮装をして出向くと、女性は満面の笑顔で大喜び。一緒に写真も撮って、楽しいひと時を過ごした。

そして1年後。デイサービスから梅本さんにメールが届いた。あの後、女性は半年ほどして亡くなったが、家族か

らは「かっぱさんとの写真は大事な宝物。おばあちゃんが人生の最後を笑顔で過ごせたことに感謝している」と連絡があったという。あの時のちょっとした出会いが、相手の心にはそれほど響いていたというわけだ。「これまでやってきた中で一番嬉しかった」とは、行政書士の仕事のかたわら、「川崎セブンスター」の活動に情熱を燃やしてきた梅本さんの述懐である。

コロナ禍ですぎすぎしがちな世の中。が、誰にでも、ちょっとしたことで他の誰かを喜ばせることはできる。誰でも、誰かにとつての「かっぱ」になれる。そうすればコロナ禍も楽しく乗り切れるだろう。この話は、そんなことをさりげなく伝えてくれているようだ。



朗読劇「かっぱの平六」の舞台。左が梅本さん（提供：川崎セブンスター）



風を感じながら、野外での演奏はいかが



カエルの扮装でカエルの歌やインザムードを演奏。おどけた仕草で聴衆の笑いを誘った

陽春の光のなか、新百合ヶ丘駅南口のペDESTリアンデッキに電子ピアノの音が響いた。コロナ禍、市民に元気づけようと考える、しんゆりステーションピアノ実行委員会が主催したイベントだ。ピアノは実行委員会が提供。通りがかりの人が、手指の消毒と検温のあと、子どもから大人まで飛び入りで自由に演奏した。4月18日の昼頃に1時間ほど取材したが、10人がつぎつぎ演奏、20人ほどが遠巻きにして聴きいった。以前は駅の構内で、今回は野外での演奏だったが、スピーカーが付いたので遠くまで聞こえた。レストランにも出演するというプロが、リストの「愛の夢」を

見事に演奏、華麗なテクニクにも感動した。また、お母さんに促されて、5月に発表会をひかえた子どもが演奏したが、微笑ましく癒された。

演奏した小学生のことを、友達は将来有望と言っていたが、本人は？。記者は小学生にしてはうまいと思った。また、別の小学生は「学校のピアノなら弾ける」と言うので薦めたが、弾かずに立ち去った。見知らぬ人の前で、上手な大人に混じって弾くのは勇気がいると改めて感じた。

今回は4月17日から5月2日までの土、日、水曜で雨天中止のため7回で終わったが、秋頃にも計画しているとのこと。決まり次第、区役所や市民館などにチラシを置くので、ぜひ出かけて欲しい。



発表会の練習になったかな？



こころに響く 優しいうたを

2020年、世界は「コロナ」という災害に見舞われた。連日各国から悲惨なニュースが届く。日本も例外ではなかった。病魔に苦しむ人、経済的に困窮する人…先の見えない混乱の中で人々は心の安らぎを求めた。

一方コロナが人との交流で感染するとして、仕事は在宅、学校は休校、高齢者施設や病院は面会禁止となった。誰にも会えない不安や、やり場のない切なさの中、筆者は「麻生市民交流館やまゆり」で一枚のイラスト付き短歌と運命的な出会いをする。『しばらくは離れて暮らすこととナ、つぎ逢ふ時は君といふ字に』。大阪在住のイラストレーター田中貞之さんの作品だ。優しい色づかい、心に染み入る言葉、飾らないのに力がある歌だ。目にした瞬間、親しかった人々の姿が脳裏に浮びその場に立

ち尽くしてしまった。「コロナは必ず終息する。君と逢えるその日まで一緒に頑張ろう！」とエールが聴こえた気がした。この感動を誰かに伝えたい、と強く思った。



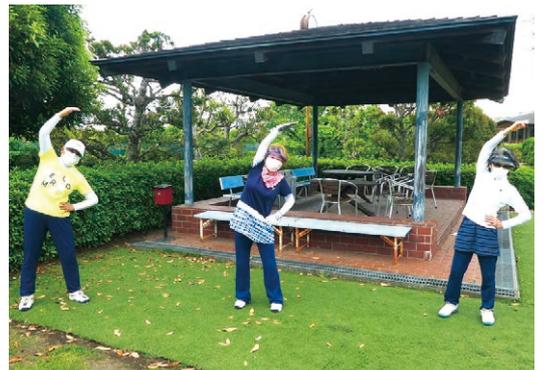
©タナカサダユキ

機知に富んだユニークな作品は多くの人の心をつかんで離さない

後日、作品使用のお願いの電話をしたが、受話器の向こうの田中さんは限りなく優しくなった。「骨折した母を病院に連れて行った時に思いつきました。沢山の方に喜んでいただけたら大変嬉しい」初めてなのに旧知の様に包み込んでくれたのが印象的だった。今、世界中がワクチン開発にしのぎを削っている。そう遠くない未来、私たちはコロナに打ち勝つだろう。あなたに逢える、あなたと抱き合える日は近い！



コロナ疲れに癒しを



根強い人気のラジオ体操

コロナ禍で引きこもりがちな日常、自宅や周辺で手軽にできる癒しの方法を伝えたい。

ネットで調べたが、意外と一番の人気はラジオ体操。なまっただ体が引き締まるほか、溜まった疲れがとれて体が癒される。また、定時放送に合わせて行うと生活のリズムが生まれ精神的にも癒されるという。解放的な野外で集まる場合は密集、密接を避ける配慮を。

次にお勧めはアロマ。香りを部屋中に漂わせたり、お風呂にたらしたりすると癒される。柑橘系やハーブ系がお勧め。筆者は人形の体内でお香



お香をくゆらす人形 独のドレスデンで購入

をたき、その香りと口からユラユラと立ちのぼる白煙を見ながらコーヒーを飲んでいると、一日の疲れがフツ飛ぶ。合わせて、滝の音や鳥のさえずり、虫の鳴き声などを取り入れたリラクゼーションミュージックを聞くのもお勧め。

このほか、日光浴もいい。起床後の10分から20分、ベランダや庭で朝の太陽の光をあびると幸せホルモンの代表格であるセロトニンが出て癒される。また、朝夕のウォーキングもお勧めする。3密を避けたコースを選んで1時間、4キロほどを歩くと、癒しのほか筋肉の衰えを防ぎダイエットにもなる。

コロナ疲れを感じている方にとって、この記事が癒しへの道しるべになれば幸いだ。

4月15日の審査会を経て、令和3年度「地域コミュニティ活動支援事業」として、5団体が選ばれました。

本年度は子ども向けの活動をしている団体が多く、子どもや親子を通じた新たなコミュニティができる事を期待しています。

イベントなどの開催にあたってはチラシ等が区内に配架されます。多くの方の参加をお待ちしております。



和風つくりでコミュニティ作り

あさお和風の会

和風つくりと風揚げ大会を通じて子どもたちのモノつくりの楽しさと創造性を養い、親子の参加により会話を活発化、地域社会の世代間交流を促進することを目的としています。今期は活動の範囲を拡げ、寺子屋、子ども会などの団体にアプローチし、一層地域のコミュニティ作りに貢献したいと考えていますが、リモートによる体験会開催も計画しています。

こどもしんぶん

こどもしんぶん部

子どものユニークな視点で街の魅力を発見できたら、子どもも大人も地域がもっと好きになるとの思いから活動を開始しました。取材や記事の作成などを通じ、子どもたちが自然に、楽しく、探求心や表現力を身に付け、学校・家庭だけでなく、新たな居場所や仲間作りにも繋がると考えています。今年度はオンラインでのテーマごとの講座の開催も予定しています。

平和を願い、実現するための集い

平和を願う会

麻生区の住民、子どもたちに、平和の尊さを伝え、平和を守り、育てていく若者たちを一人でも多く輩出していきたいと思っています。対象者は小・中・高校生としているが、保護者の同伴も考え、大人にも訴える内容を加味したものにしたと思っています。原爆に関する講演・写真パネルの展示、朗読劇の上演に加え、原子力についても考える企画も計画しています。

「Sing! Move! Smile!」
コンサート

音楽ユニット Pentas

「多くの人に音楽を楽しんでもらえる参加型コンサートの開催」にて新たなコミュニティが生まれ、広がることを願い、事業を展開しています。世代、性別、様々な生活環境の人々が集うコンサートを開催し、一緒に演奏に参加したり、感じたものを分かち合えるような場所づくりをしていきます。参加者同士にコミュニケーションが生まれることで、新たなコミュニティづくりや地域の輪を広げていけることを願っています。

岡上で「地域の伝統野菜」
を育てよう!!

特定非営利活動法人 岡上アグリ・リゾート

いまだ、新型コロナの感染症対策は必須であるために室内ではなく野外でのコミュニティづくり、「畑」を人々の交流の空間として、コミュニティの場にしたいと考えています。「地域の伝統野菜」の栽培など、農業体験を通じ多世代が交流し新たなコミュニティが生まれることを願っています。

麻生市民交流館 やまゆり



ホームページ更新中 ▶▶▶



開館日	月～金 9:30～17:00 平日の夜間 ～20:15 ※土・日・祝日も予約をすれば利用可
休館日	年末年始、施設点検日
アクセス	小田急線「新百合ヶ丘」駅南口から徒歩4分
住所	〒215-0021 川崎市麻生区上麻生1-11-5
TEL	044-951-6321

